

#827 現場の見える化で正確な数量把握！生産性向上が可能に



■■ 現場詳細 ■■和歌山県有田市山田原

河川の増水対策のための工事

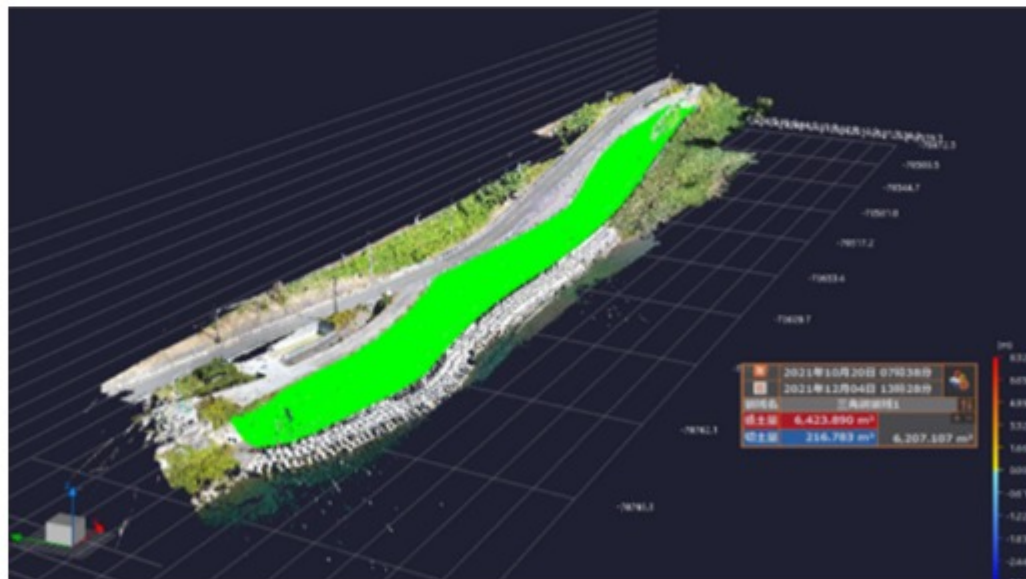
【施工範囲】延長300m 【施工土量】6,500m³

【ソリューション】ドローン測量

【稼働建機】PC228USレトロフィット装着機

(掲載月：2023年7月)

今後のICT施工の普及を見越して



■■ 導入経緯 ■■

(株)中屋組 八木高広さん

当社では今後増えていくことが予想されるICTを活用した公共工事への対応力をさらに強化していきたいと考えていました。

今回の現場では、ドローン測量と3次元設計データ作成は自社で行いましたが、ICT建機としてレトロフィット装着機を導入することにしました。その決め手としては、コマツがいち早くICT施工に取り組んでいたことと、サポート体制がしっかりしていることです。

また、自社でドローン測量と3次元設計データ作成を行ったことで、設計段階では施工土量6,500m³と発注されていたところ、実際には構造物を除くと6,200m³の土量が必要と判明しました。

オペレーターも管理者も負担軽減



■■ 導入効果 ■■

(株)中屋組 八木高広さん

施工中に掘削高さの確認はしていましたが、レトロフィット装着機を導入したことで、基本的には丁張りを設置することなく施工ができ、効率よく作業を進められました。また、モニターに3次元設計データが映し出されることで、設計外の構造物を傷つけるリスクが軽減したことも導入して良かった点でした。ICT建機を活用することでオペレーターだけでなく、管理者の視点でも安心して施工を進めることができました。

当社は将来を見据え、ICT建機を購入し、測量も3次元設計データ作成も自社で実施するICT施工の内製化を図りました。今後の現場でも効率的な施工をするために、スマートコンストラクションを幅広く活用していきたいです。

(株)中屋組 様

「(株)中屋組」は和歌山県のほぼ中央に位置する有田川町で昭和5年創業の歴史ある会社です。

弊社は時代の最先端技術を追求し、ICT施工や電子測量機器を導入し、新たな挑戦を続けています。

大切な自然を守り、地域社会との調和を目指し、笑顔とチャレンジ精神で「ものづくり」に頑張っています！



八木高広さん